

# 議会だより

平成29年  
8月1日  
発行

第31号



ほこち  
鉾持ちの飛び込み

※議会だよりは、3月・6月・9月・12月の年4回の定例会、また、必要に応じて開催される臨時会の内容を中心に編集しており、2月・5月・8月・11月に発行します。

## 目次

- 議決結果・議案に対する賛否一覧…………… 2
- 議会レポート／議案に対する討論…………… 3
- 一般質問…………… 4
- 委員会レポート…………… 11
- 市議会の活動…………… 14
- 議会日誌・平成29年第3回定例会の予定…………… 16



▲ブルーベリー

# ◎平成29年第1回津島市議会臨時会 議決結果

- ★専決第1号 専決処分の承認について(津島市市税条例の一部を改正する条例)……………多数で承認
- ★議案第25号 津島市監査委員の選任について……………同意

# ◎平成29年第2回津島市議会定例会 議決結果

- ★議案第26号 津島市職員の退職手当に関する条例の一部改正について……………全員で可決
- ★議案第27号 津島市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用並びにビラ及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について……………全員で可決
- ★議案第28号 津島市市税条例等の一部改正について……………多数で可決
- ★議案第29号 津島市国民健康保険税賦課徴収条例の一部改正について……………全員で可決
- ★議案第30号 津島市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について……………全員で可決
- ★議案第31号 市道の路線認定及び廃止について……………全員で可決
- ★議案第32号 平成29年度津島市一般会計補正予算(第1号)について……………多数で可決
- ★議案第33号 平成29年度津島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について……………全員で可決
- ★議案第34号 津島市農業委員会委員の選任について……………同意
- ★議員提出議案第2号 ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書……………全員で可決
- ★請願第4号 就学援助の入学準備金3月支給など、制度拡充を求める請願……………少数で不採択

◎開かれた議会を目指す取り組みとして、議員がどの議案に賛成したか、反対したかを一覧表にして掲載しています。

## 平成29年第1回臨時会および第2回定例会【議案に対する賛否一覧】 賛成:○ 反対:×

議案番号	新市民クラブ						改革クラブ				青風会			共産党議員団		公明党つしま		無会派	無会派	無会派	
	日比野郁郎	西山良夫	長尾日出男	加藤哲司	安井貴仁	服部哲也	加藤則之	後藤敏夫	沖廣	垣見啓之	大鹿一八	上野聡久	山田真功	伊藤恵子	太田幸江	本田雅英	森口達也	垣見信夫	長久	宇藤久子	小山高史
第1回臨時会																					
専決1	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
第2回定例会																					
26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	○	○	○
29	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	○	○	○
33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
34	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議提2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
請願4	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	—	×	○	○

※議長は採決に加わっておりません(専決第1号 採決時の議長は加藤則之議員です)。



## 第1回臨時議会

5月11日と12日に開催し、議長、副議長をはじめ、常任委員会などの委員が選任されました。

今臨時会では、専決1件を承認、人事案件1件を同意しました。

## 議案に対する討論

専決第1号  
専決処分の承認(市税条例の一部改正)

## 《反対討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

上場株式配当所得の個人市民税申告が、総合課税・申告分離課税・申告不要制度の3つの選択ができるようになることだが、減税の恩恵のほとんどが富裕層である。今以上の富裕層優遇措置には反対。

## 第2回定例会

6月5日から29日まで開催し、12日から14日までの3日間、15人の議員による一般質問を行いました。

今定例会では、議案8件、人事案件1

件、議員提出議案1件を可決・同意しました。また、請願1件は不採択となりました。

## 議案に対する討論

## 議案第28号

## 市税条例等の一部改正

## 《反対討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

配偶者控除対象者が1000万円以下という所得制限で、約600人が影響し、約1200万円の増税。法人市民税の一部国税化は、1億3000万円ほどの減収となるが、市への還元方法は不明確で、地方分権に逆行する。

## 《賛成討論》

公明党つしま 森口達也

所得税法、地方税法の改正に合わせて一層、公平な税負担を求める観点から、法人税割の税率の改正については地域間の財源力格差を縮小し、平準化を図るための地方交付税の原資として加算されるため必要な改正である。

## 議案第32号

## 一般会計補正予算(第1号)

## 《反対討論》

日本共産党議員団 太田幸江

「外国人向けの観光情報を発信する、多言語のホームページとパンフレットの

作成」委託事業費750万円余に反対である。地方創生事業の目的は「少子化の歯止め」である。この事業は、目的に合っていない。

## 《賛成討論》

改革クラブ 垣見啓之

市内には宿泊施設がなく、まちの魅力を感じてもらうことが非常に弱い。国の交付金を有効に活用し、単発の事業に終わらせることなく、継続性をもって滞在型観光を発信できるよう事業を進めてもらいたい。

小山高史

総務委員会で、滞在型観光やまちづくりに対しての厳しい意見が出たにも関わらず、市長は自身の想いや考えを発言されなかった。今後、議会で説明責任をしっかりと果たしていくことを希望する。

## 請願第4号

就学援助の入学準備金3月支給など、制度拡充を求める  
請願

## 《反対討論》

改革クラブ 加藤則之

請願への賛意は、議会としては行政当局に対し、強く対応・改善を求め、市当局と一丸となり、実現に最善を尽くす責務を負うこと。本請願は十分理解するが、財政状況等を考えれば厳しく、

現状では賛成はできない。

## 《賛成討論》

日本共産党議員団 太田幸江

市は、今議会において請願の3項目のうち2項目の取り組みを約束した。残すは、70%しか支給していない給食費の100%支給である。100%支給をしていない自治体は、県下で津島市と2町だけ。早急に実施すべき。

小山高史

観光やまちづくりに対しては、みんなが賛同するが、なぜ津島の未来をつつていく子どもたちの就学援助費の拡充には反対なのか。問題を理解せずに、ただ反対するというのはやめて、新しい考えを持っていただきたい。

## 議員提出議案第2号

## ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書

## 《賛成討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

日本のギャンブル依存症は536万人と世界でも異常な高さ。これ以上依存症を生み出さないことが一番の対策。カジノ解禁法・実施法を許さない立場で、意見書に賛成。



青風会  
山田真功

これからの公共施設について

**質問**  
公共建築物およびインフラ施設を合わせた更新等に係る費用はいくらになるのか。

**総務部長**

今後40年間で約875億6000万円、年平均で約21億9000万円である。

**質問**

過去5年間の**投資的経費**、また、更新等に係る費用と**投資的経費**の平均額と、その差額はいくらになるか。

**総務部長**

投資的経費の年平均は約13億8000万円。更新等に係る年平均は約21億9000万円。その差額は約8億1000万円である。

**質問**

施設によってはネーミングライツを導入して、その歳入を施設の修繕に充てたり、市民に向けた公共サービスの充実に使うことが行政と民間の正常な関係の形ではないか。

**総務部長**

ネーミングライツについては、行政と民間がメリットを共有できるよい連携の形である。導入については研究していく。

**質問**

文化会館と生涯学習センターの歳入歳出はいくらか。また、それぞれの施設の運営形態は。

**総務部長**

文化会館は指定管理者制度で指定管理委託料が年間約5300万円。利用料収入が年間約3100万円。生涯学習センターは市の直営で年間の費用は人件費も含め約7200万円。利用料収入は約1000万円。

**質問**

市や学校の部活動、老人クラブなど公的な団体が文化会館を利用する場合は減免措置や割引をするべきでは。

**市長**

幅広く市民・団体に利用してもらおう、公も含めて公平性が大切であるため、減免措置を行っていない。

**投資的経費とは？**

道路、橋梁、公園、学校、公営住宅の建設等、社会資本の整備等に要する経費のこと。

就学援助について



公明党つしま  
森口達也

**質問**  
当市における就学援助の実態はどうなっているのか。

**教育委員会事務局長**

平成28年度の実績見込みにおいて就学援助の援助率としては11.5%、支給項目としては、新入学児童生徒学用品費等、学用品費・通学用品費、修学旅行費、給食費である。支給回数については、9月と翌年3月の2回に分けて支給を行っている。

**質問**

要保護児童生徒援助費補助金要綱の改正によって、就学前の支給が可能となった。平成30年度から実施できるように準備をしていたかと思うが、支給を開始するために、何を改正していく必要があるのか明確に。

**教育委員会事務局長**

就学援助費の事務は電算システムを用いて支給しており、就学予定者データを取り込む必要がある。加えて、認定基準などを含めて要綱などの改正が

必要になるので、検討し、近隣自治体の状況などを把握しながら取り組んでいきたいと考えている。

**質問**

就学援助の前倒し支給も、市長が常日ごろから言っている「子育て支援は成長戦略の一丁目一番地」に見事に合致すると思うが、見解は。

**市長**

新入学児童生徒に対する支援について、入学前に支給ができるように全力で取り組んでいきたいと考えている。

「ヘルプカード」導入について

**質問**

障がい者の方々が安心して生活を送るため、緊急時や災害時に周囲の方に援助をお願いするためにヘルプカードを導入すべきであると考えますが、市長の見解は。

**市長**

福祉部門のみならず、災害時の避難支援という面からも防災の担当部門などとも交えて、障がいのある方や関係者の方々のご意見もいただきながら、導入に向けて前向きに検討していきたいと考えている。





公明党つしま  
本田雅英

### 市民病院事業に関して

#### 質問

地域包括ケア病棟の外部からの受入件数が、入院総数の3%しかない現状を、どのように認識しているか。

#### 市民病院事務局長

まだまだ十分とは言えない。緊急時の受入に対応していく必要がある。医療機関や介護施設等へのPRに努める。

#### 質問

計画を策定し、開業医訪問をもっと積極的に行うべきではないか。

#### 市民病院事務局長

計画をしっかりと作って早急に進めていきたいと考えている。

#### 質問

新たな経営陣による運営が行われているが、病院全体として、何か新しい取り組みはあったのか。

#### 市長

毎週行われている経営会議が大きく変わった。良い緊張関係の中で、新メン

バーの新たな発想も加わり、活発な意見を交えている。また、院長による診療科長の面談が行われた。

#### 質問

29年度予算値達成に向けて、新体制のもと、今後どのような取り組みを進めていく予定なのか。

#### 市長

目標値を意識し覚悟を持って取り組む。これをしっかりとやってみよう。

### 地域包括ケアに関して

#### 質問

市長の思い描く津島市の地域包括ケアシステムのイメージは。

#### 市長

地域や時代を問わず、全ての市民が自分らしく生活できることが必要と考え、地域の絆づくりがまちづくりに発展していくようなイメージである。

#### 質問

地域包括ケアシステムの構築に向けての市長の決意は。

#### 市長

医療、介護、福祉のところを、重点的にやっつけていかなければいけない。積極的に関わっていききたい。併せて、住宅の部分も頑張っていきたい。



宇藤久子

### 神守地区計画について

#### 質問

平成27年度に指定した神守中町地区計画の概要は。

#### 建設産業部長

神守中町地区計画は、神守町上町と中町の一部で、全体面積が23.5haであり、土地利用方針は、西尾張中央道の沿道において幹線道路沿道の土地利用を図ることとし、その他の地域では、住居系の土地利用を図りながら、敷地面積に対する建物の割合となる、建ぺい率や容積率の緩和を行った。

また、道路や公園といった地区施設の計画的な整備を位置づけ、幹線道路沿道部分の活用とともに、良好でゆとりある居住環境を有する市街地を形成するものである。

#### 質問

地区計画の中で、施設整備にはどのようなものがあるか。

#### 建設産業部長

計画的に道路、公園を整備する。道路は、建築物の新築等で、幅員4m以上を

確保するといった規定を守る。公園は、神守町上町および中町地区にある社寺の境内敷地を緑のオープンスペースとして位置付けながら、地区住民が徒歩で身近に利用できる2つの公園を計画している。

#### 質問

公園には、防災面での機能は考えていないのか。

#### 建設産業部長

地震等災害時における避難場所としての機能も備える。地震等の災害時には、浸水被害も考慮し、一定の浸水高にも対応した緊急避難場所としての盛り土を行う計画である。また、災害時の仮設用としてのマンホールトイレを整備する予定である。



▲防災シェルター(テント付き)

#### 質問

緊急避難場所は一定の防災施設が必要と思う。かまどベンチや災害用資器材を備蓄する防災倉庫を設置するのか。

#### 建設産業部長

かまどベンチや防災倉庫は、防災に資する施設の一つと考えるが、設置については町内会や関係機関と相談する。

#### その他の質問

・児童の通学時の安全対策について



改革クラブ  
沖 廣

小・中学校の学級編成について

質問

小・中学校の1学級の児童の定員数は県下で統一なのか、各自治体で独自には決められないのか。

教育委員会事務局長

国では、小学校1年生は1学級当たり35人を上限に、小学校2年生以上と中学校は1学級当たり40人を上限に定められている。愛知県は、小学校2年生と中学校1年生については、1学級当たり35人を定員としている。市独自で学級数を弾力的に決めることは可能であり、現在、80人の児童数の学校について、児童・生徒に対する教育的配慮で3学級としている学校もある。

質問

平成29年度、西小は1年生70人で2クラス、蛭間小は35人で1クラスだが、幼稚園から小学校に上がって戸惑いのある中、教員も少人数の方が目が行き届くと思うが、西小を3クラス、蛭間小を2クラスにはできなかったのか。

教育委員会事務局長

教育的配慮で弾力的にクラスを増やした場合でも、配置される教員数は定数どおりである。クラス経営もそうだが、円滑に学校運営を進める上で、総合的に判断する必要があると考える。

特別支援学級について

質問

特別支援学級の担任は、資格がある方なのか。

教育委員会事務局長

以前の養護学校、特別支援学校教諭免許は必要でなく、教員免許を持っていれば担任ができる。

質問

特別支援学級の担任の配置については、基準があるのか。

教育委員会事務局長

特にないが、職員数や年齢構成、経過年数を踏まえ、学校長が判断している。

質問

本当に特別支援学級について、考えた配置をしているのか。

教育委員会事務局長

児童・生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、適切な支援が行えるよう配置している。



改革クラブ  
垣見啓之

教員の多忙化について

質問

県が教員の多忙化解消プランを策定するに至った背景は何か。

教育委員会事務局長

公立学校の教員の勤務状況は大変憂慮すべき状況にあり、県教育委員会は教員の健康維持の問題であるとともに教育水準の維持向上にかかわる問題と捉え、長時間労働の是正に向けた具体的な取り組みを進めるためとしている。

質問

多忙化解消プランの対象となる学校、プランの期間、プランの目標は。

教育委員会事務局長

市立の小・中学校が対象で、期間は平成29年度から32年度までの4年間で、勤務時間外の在校時間が月80時間を超える教員の割合をゼロ%にすることを目標としている。

質問

当市の場合、1か月の在校時間が80時間を超えている教員の割合は。

教育委員会事務局長

平成28年11月調査で、小学校は4.6%、中学校は37.4%である。

質問

教員の多忙化の一番の原因とされている部活指導にかかわる負担軽減で、休養日についての現状はどうか。

教育委員会事務局長

中学校において週2日以上、平日に1日と土・日のいずれか1日に休養日を設けるように指導していく。

質問

部活の顧問の先生の中には専門外の種目を持たされて、これがストレスの要因ではないかと考えるが、部活指導の研修会や外部指導者および再任用教員の活用等について市の考え方は。

教育委員会事務局長

研修会等には参加できればと考えるが、外部指導者の活用については慎重に対応していきたい。

質問

部活の現状について教育長の考えは。

教育長

先生方の負担の上になり立っていることに感謝申し上げる。生徒にとって適切で先生方にも健康的な、過度にならない部活指導に取り組んでいきたい。



青風会  
上野聡久

### 市の人事について

#### 質問

1年や2年でくるくる変わる人事異動は問題ではないか。市役所の組織の中にスペシャリストをつくることを提案したい。例えば、財政、人事、子育ての専門家などをつくるのはどうか。

#### 市長

昨今は行政ニーズが多様化、複雑化しており、議員が提案する部分があると思う。一定のスペシャリストをつくることは必要であると考えます。

#### 質問

窓口業務や電話対応に関して、いまだにあの対応はどうか、挨拶がないなどの声が寄せられる。市長の考えは。

#### 市長

まだまだな部分もあるが、良くなっていく部分もある。接遇日本一と言われるように頑張っていく。

#### 質問

接遇日本一を目指すということだが、あえて苦言を呈したい。福祉課の窓口

には家族が倒れた、介護が必要になった、障がいが残った時に、市民は相談に来る。先日、「そんな対応をされたのか」という話があった。福祉課の窓口業務の対応を徹底すべきではないか。

### 健康福祉部長

態度を改めて取り組んでいきたい。

#### 質問

市民は、カウンターで話すのも勇気がいる。緊張して自分の考え、思いをうまく伝えることができない人もいる。難しい言葉で話をされると、もう一回相談に行こうという気にはならない。わりにもすがる思いで相談に来た人はどうしたらいいのか。しっかりとした窓口対応、電話対応を求めたいが市長の考えは。

#### 市長

接遇というのはすべての行動の原点である。来庁された方に寄り添う接遇が大切であると思っている。改善を指導していく。

### その他の質問

・カラス等の鳥獣被害について



改革クラブ  
後藤敏夫

### 教育に関する件

#### 質問

指導要領改訂について教育長はどのように指導、教育を考えているか。

#### 教育長

平成32年度から実施される指導要領改訂の基本的な考え方は、1、未来社会に開かれた教育課程を重視すること、2、確かな学力を育成すること、3、豊かな心や健やかな体を育成することの3つで、具体的には、何ができるか等明確化して授業の展開等をする、学校ごとに学習効果を上げるカリキュラムマネジメントを確立する、各教育内容の改善事項の確認等について校内研修を中心に徹底していきたい。多忙化解消の手立てもあわせて講じていきたい。

#### 質問

英語の時間数が増える。時間数確保のため総合学習の時間を利用できる。取り組み方に対する考えはどうか。

### 教育委員会事務局長

来年度からは年間15時間について総合的な学習の時間を外国語活動に振り

替え可能となっている。海部地区全体の様子を参考にしながら対応していきたい。

#### 質問

英語指導担当の先生の英語力向上対策として、英語検定資格の取得に対する取り組みについての考えは。

### 教育委員会事務局長

昨年度、英語指導力向上授業において、研修協力校の英語担当教員を中心に外部検定試験の受験を促進した。積極的な受験を促していきたい。

#### 質問

道徳が教科化となるが、指導方法についての考えは。

### 教育委員会事務局長

各小・中学校に道徳教育推進教師を1名ずつ配置し研修を行っている。教科書が採択された後、海部地方現職教育委員会において、指導カリキュラムの見直しが見直されると考えている。

### その他の質問

・学力テストについて  
・都市計画道路について  
(名古屋津島線、天王通線、佐織津島線、津島佐屋線)



日本共産党議員団  
伊藤恵子

国保税は値下げできるのか

質問

市が運営していた国民健康保険事業が、来年度から県へ移管される。試算によると、県へ支払う納付金が2億6700万円減額になる。保険税は引き下がるのではないか。

健康福祉部長

算出の際の公費投入分などが含まれていないなど、不確定な要素が多く、平成30年度からの保険税引き下げができるかは、現時点で判断できない。

質問

来年度から1700億円を拡充し、合計3400億円の国の財源投入は、被保険者一人当たり約1万円の財政改善効果があると言われている。この財源で保険税引き下げを実施するのか。

健康福祉部長

財政支援は、国民健康保険改革による制度の安定化を図るため、財政調整機能の強化、医療費増負担への対応、医療費の適正化に向けた取り組みに対する支援等に用いられることとなる。

質問

保険税の算定方式や額が決定するまでのスケジュールは。

健康福祉部長

12月以降に国からの確定係数をもとに県が本算定する納付金および標準保険税率からシミュレーションを行い、国民健康保険運営協議会で審議し、答申を得て平成30年3月議会に条例改正案を上程する。

質問

他の社会保険と違い、多子世帯ほど負担が大きくなる子どもの均等割軽減策を進めるのか。

健康福祉部長

国が制度化し、全国的に実施されるべきものと考えている。

質問

制度開始以来、全く実績がない「医療費を支払うことが困難な方に減額等の対応をする」国保法44条の適用規定は見直すべきでは。

健康福祉部長

調査研究に努める。

その他の質問

- 市民の実態に合った安心できる介護保険制度を
- 住民サービスを守る定員管理を



日本共産党議員団  
太田幸江

中学生の通学かばんについて

質問

「こんなに重いかばんを成長期に背負って歩いていたら、子どもの体がおかしくなるのではないか。」という声が中学生の保護者から寄せられた。中学校では、かばんの重さを計ったことはあるか。

教育委員会事務局長

計測したことはない。

質問

保護者の方からの資料によると、背負うかばん約10kg、手に持つかばんが約2kg、合わせて約12kgである。部活に対応して水筒を2つ持つと約4kg増量される。自転車に載せれば、少し楽になると思うが、自転車通学の基準はどのように決められるのか。

教育委員会事務局長

- 学校からの距離をもとに町内単位で徒歩通学と自転車で通学を分けている。



質問

教材の一部を学校に置いていく、または保管する場所はないのか。

教育委員会事務局長

家庭学習の習慣定着のため、学校に置いていけないように指導している。

質問

けがや病気の時の対応は。

教育委員会事務局長

相談があれば学校内で協議して、対応している。

質問

2002年と比べると教科書は1.5倍になった。その他に副読本等、多数持つこいく。子どもの健康と成長に配慮して改善が必要と思うがどうか。

教育長

成長期における体への影響については、医学的、専門的な見識が必要になってくる。改善できることから始め、他市町村の状況も参考にしていきたい。

その他の質問

- 天王川公園整備計画について
- 市ごみ処理基本計画について
- 中学卒業まで医療費無料化について
- 就学援助制度の改善について





改革クラブ  
加藤則之

### 歴史・文化ゾーンのまちづくり

#### 質問

平成27年から5か年計画の都市再生整備計画で動き出している事業と、地方創生推進交付金など、動き出している事業は。

#### 市長公室長

活力・にぎわいの再生や景観維持・創出、歴史・文化の保護・継承を整備方針として、道路美装化・小路整備、歴史・文化のまちづくり提案事業などに着手し、今年度からは、案内板整備、ポケットパーク整備、町家修景復元、山車蔵修景整備事業などがスタートした。

地方創生推進交付金活用の事業は、寺院と町家を活用した滞在型観光による地域再生プロジェクトと、みんなで見・発信・おもてなし津島にぎわい創出プロジェクトである。

#### 建設産業部長

津島神社への参道を核とした門前町再生事業で、天王通りに対するビジョンを策定。また、空き店舗への出店希望者と貸し主を結びシステム構築や既存店を空き店舗活用し、ものづくり等の体

験を実施できるシステムを構築する。

### 魅力ある津島駅を考える

#### 質問

観光的な要素で、来訪者の増加が見込めるようになると、津島駅構内などの今後のあり方を考えて、「駐輪場跡」や「喫茶店跡」をどのように対応していくのか。

#### 市長公室長

安全や防犯の対策だけでなく、工事箇所や店舗跡等にはベニヤ板で目隠しするなど、駅の景観や雰囲気配慮した措置を早急に講じてもらうよう名鉄に対して、具体的な要請をしていきたい。

#### 質問

駅周辺は、都市計画道路や土地利用を真剣に検討して行く時期に来ている。今後は前に進めると言う強い意向を示せば、名鉄も対応を考えるとと思うが。

#### 市長

今後は、市の都市拠点として、津島駅周辺のにぎわい創出をさらに進めたい。駅東側については、送迎用車両の退避スペースがないことから、今年度から暫定的に車両が転回できる乗降場所の整備を、順次進めていきたい。



小山高史

### 問われる市長の責任と資質

#### 質問

市長は任期4年目で最後の年となる。市民病院は来年以降も見通しはかなり厳しいと考えるが、どのような危機感を持っているのか。

#### 市長

一つずつの目標に対して期限を切って進めて改善する。この危機感を職員全員と共有しながら頑張っていきたい。

#### 質問

3月の議会でも市長に質問したが、答弁を避けられ、「公営企業法を勉強して」と要求した市民病院の財源問題を改めて問う。予定している支出に対して収入が足りないが、どのように補てんをされるのか。

#### 市長

これに関しては、市民病院事務局長から答弁してもらう。

#### 質問

事務局長ではなく市長に聞いている。私は前回の3月議会でも全く同じ質問を

しており、今日まで3か月の猶予があったのになぜ確認していないのか、残念である。市民病院の平成28年度の収支はこの10年間で一番良かったのに、新たに4億円を市から借りている事実がある。成績が良いのにお金を借りないといけない状況で、やはり現金がない。財源を示せず答弁もできないということは一借入金で補てんをするのか。

#### 市長

担当者から答弁書が回ってきたので答弁するが、市民病院は企業会計であり、一般会計と異なり、減価償却等の現金支出が伴わない収益や費用があるため収支が均衡しない場合もある。

#### 質問

答弁書を読み上げただけで、質問の内容も市民病院の危機的状況を全く理解していない。新体制となり病院はとも頑張っているが、一寸先は闇という状況は変わらない。今後の難局を乗り越えるには市長の政治的な決断が必要になると考える。どのタイミングで結論を出すのがベストだと考えるか。

#### 市長

政治的判断をこの場で示すわけにはいかなないので差し控えるが、病院が成り立たなければ市としても非常に厳しい状況になるので一生懸命取り組んでいきたいという決意である。



新市民クラブ  
西山良夫

地域コミュニティに関する件

質問

地域コミュニティ活動に対して望むことは何か。

市長

市内全てに拠点整備され、日常的な活動、地域情報の集約の場として活用され、地域によって必要なものを住民自ら考え協力し、より良い地域づくりを目指し、活性化することを望む。市も高齢社会を見据え、共に歩んでいく。

シティプロモーション事業に関する件

質問

市が描くシティプロモーションの内容と事業の指標についての見解は。

市長公室長

広報・広聴施策に市の魅力の向上・発信に関する業務、「売り込み」という概念を取り入れた。伝統・文化などの市の魅力がメディアに取り上げられ、市の活性化や魅力あるまちづくりにつながり、市民が市に対して、愛着や誇りを持っていただくことが指標になる。

生涯学習推進事業に関する件

質問

市の目指すべき生涯学習推進事業に対する見解は。

教育長

市民の皆様が生涯学習事業への参加、連携、協働を期待する。地域コミュニティの果たす機能や役割、学校を核とした地域づくりといった視点も勘案し、ハード・ソフトの環境整備を進め、参加しやすい事業を推進していきたい。

質問

中央公民館の今後について見解は。

教育委員会事務局長

公共施設等総合管理計画では廃止。建て替えや耐震補強は予定していない。今後は、生涯学習のあり方について、利用者の意向を伺いながら検討し、機能の移転について丁寧に対応していく。



市民病院の現状と今後について

質問

市民病院の近々の状況は。

市民病院事務局長

前年と比較すると、入院収益は、2月は前年度とほぼ同額、3月、4月では前年度を下回る。

外来では、2月の診療単価は前年度を上回ったが、2月、3月ともに1日の平均患者数、外来収益は前年度を下回った。

質問

昨年12月に4億円の長期貸付金の補正が出されたが本年度の見通しは。

市民病院事務局長

支援を受けることがないよう、収入の増加・確保対策、経費の削減・抑制対策を進め、各診療科の収益の目標値の達成に向けて最大限の努力を行う。

質問

病院の健全経営の指針は医業収益に対する給与費の割合が50%くらいと言われているが、市民病院の近々の給与比率は。



新市民クラブ  
長尾日出男

市民病院事務局長

平成28年度決算では58.9%である。

質問

市民病院の職種別給与は、他の公立病院と比較するところか。

市民病院事務局長

医師、医療技術職、事務職は平均額を下回り、看護師では平均額を上回る。

質問

市の財政状況が厳しく市民病院に対するバックアップが今後は困難と思うが、どのように取り組んでいくのか。

市長

全職員が目標意識を持って達成に向けて取り組んでいく。

3月に策定した新改革プランの実現のため、各部署で数値目標を立てており目標を確実に達成すべく頑張っている。市と病院が一緒になって進捗管理を行うこと。

市民病院の経営責任は開設者である私であると認識している。今後は病院の医療職員とコミュニケーションをとり、院長としっかりタッグを組んで経営改善に取り組んでいく。

その他の質問

・老人クラブの現状と今後の対策  
・コミュニティの今後について



青風会  
大鹿一八

災害時の避難方法や避難所について

質問

万が一、水害等があった場合、高齢者や移動困難者への避難対応は。

市長公室長

自力で避難が難しく、他者の支援が必要な方に、地域において支援体制の構築を図り、支援を行う避難行動要支援者支援制度の実施を進めている。

質問

水害があった時に、在宅で治療を受ける闘病中の人達の避難対応は。

市長公室長

自助の取り組みとして、医療に必要な機器のバッテリーや医療用具、衛生材料をあらかじめ確保するなど、日ごろからの備えが重要。特に配慮を要する方へのニーズに応えられるよう努め、受け入れ等について調整を図る。

質問

市民病院が水没し、ライフラインが確保できなくなった場合、入院患者へどのように対応するか。

市民病院事務局長

長期間続く場合は、緊急性の高い患者からヘリコプターなどで被災地域外へ搬送する。

質問

災害時におけるペットの救援対策、ガイドラインに関連して、避難所運営マニュアルについては。

市長公室長

東日本大震災後に策定された「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を踏まえて、ペットが風雨をしのごとくできるように対応を図る。

質問

ペットの救護に係る組織と連携する考えはないか。

市長公室長

必要とされる対策を検討し、実情に応じて考えていきたい。

質問

ペット同行の避難訓練や受入訓練等を日ごろから実施できないか。

市長公室長

ペット同行の避難訓練が必要だという機運が高まれば検討したい。

厚生病院委員会レポート

議案第29号  
国民健康保険税賦課徴収  
条例の一部改正

国民健康保険税の5割軽減および2割軽減対象者の所得基準を引き上げることだが、引き上げの理由は。

政府経済の見通しとして、消費者物価の1・2%程度の上昇を見込んでおり、軽減対象者が物価の上昇によって対象から外れないようにするためである。

対象世帯数と影響額は。

5割軽減は31世帯約136万6000円、2割軽減は10世帯約21万円である。

この条例改正については、市長の諮問機関である国民健康保険運営協議会に諮ったうえでの上程だと思いが、いつ開催されたのか。

2月6日に開催され、6月議会へ上程する旨を報告した。



この条例はいつから適用されるのか。

7月の本算定から適用する。



議案第32号  
一般会計補正予算(第1号)

児童福祉施設費、かるがも園のエアコン修繕料32万円余が計上されているが、場所はどこか。

事務室である。

何年に設置したものが。

平成8年である。

故障が判明した時期およびその後の対応については。

1月中旬に故障の連絡があり、業者からは、1月下旬に制御装置の不良で取り換えなければならぬと報告を受けた。当初予算の算定が済んでいたことや事務室のエアコンであり、児童に直接影響がないため、夏場までに修繕

できればというところ、6月の補正対応をしたものである。

**Q** 1月中旬から2月にかけては一番寒い時である。5月も30度を超える日があった。このような状態を放置せず、予算の流用や予備費で対処すべきではなかったか。今後の対応についてどのように考えるのか。

**A** 状況によって早急な対応が必要であるため、今後は状況をかんがみ、財政担当部署と協議しながら、適切に対応していく。



議案第33号  
国民健康保険特別会計  
補正予算(第一号)

**Q** 前期高齢者納付金の増額補正であるが、65歳から74歳までの前期高齢者は何人か。また当初予算はいくらだったか。

**A** 7106人で60万円である。

**Q** 被保険者に過重な負担がかかるため、保険者間で負担し、被用者保険負担を軽くすることであるが、具体的に1人当たりどれほどになるのか。

**A** 拠出金負担の軽減が上位3%から10%に拡大し、1人当たり66円で見込んでいたが、確定後は195円となった。

**Q** 拠出金負担の軽減が3%から10%上がったのはいつか。

**A** 平成29年4月からである。

**Q** 当初予算ではわからなかったのか。

**A** 国から定められて通知が来るが、明確には当初予算時期には数字が何もない状況で、大体今ごろわかる。



文教建設委員会レポート

議案第31号

市道の路線認定及び廃止

**Q** 市道の路線を認定・廃止しようとするものであるが、目的は。

**A** 都市計画法第34条第12号区域で指定されている企業進出に伴い、沿線の住民の同意をもとに払い下げ申請がなされている。市では、周辺地権者との売買契約がされており、開発の許可があれば企業の所有地となる。また、周辺に迂回路となる県道・市道が存在することから、一般の交通の用に供する必要がなくなったと認め、市道の一部を廃止し、再認定するものである。

**Q** 市道を売ることになるが、どのくらいの金額になるのか。

**A** 廃止する面積は約1008㎡である。払い下げの単価は、近傍類似の宅地並みの課税標準額を考えている。

議案第32号

一般会計補正予算(第一号)

**Q** 工事請負費として、666万円余増額され、東小学校の校舎屋外トイレおよび東小学校敷地内に開設している「東こどもの家」の下水道接続に必要な

な工事であるが、工事期間は。

**A** 夏休み期間に終える工程で進めたい。

**Q** 工事中は、トイレが使用できないが、児童保育に通っている子どもは、どのトイレを使用するのか。



**A** プール横にある屋外トイレを先に接続して、「東こどもの家」のトイレが使用できないときには、屋外トイレが使用できるようにしていく。

**Q** 小学校費、教育振興費として13万円余増額され、県より委託を受け、北小学校でキャリア教育を実施するための経費とのことであるが、その内容は。

**A** 七宝焼体験の材料費等と、下級生に伝える場の発表会で使用する模造紙や画用紙、地域啓発の資料用チラシである。

**Q** キャリアスクールプロジェクトとは具体的にどういったことをやるのか。

**A** 北小学校において、全生徒を対象にして、人との交わり、かかわりを通して働く関係で、講師による講話あるいは伝統産業の七宝焼について体験、学びといったことを実施する予定である。

**Q** 中学校費、教育振興費として、10万円増額され、県より委託を受け、天王中学校を拠点校に指定し、特別支援教育について、中学校と高校の連携を図る授業を実施するための経費とのことであるが、その内容は。

**A** 特別な支援を必要とする子どもに対し、個別教育支援計画の検討、中・高連絡会の実施、個人情報を引き継ぐシステム作成などを行うっていくものである。

**Q** 対象児童は何人か。また、この特別支援の教育事業は今後も続く事業なのか。

**A** 今年度の対象児童は、1人である。この事業は、平成29年度、平成30年度の2年度において行う事業である。

**Q** 高校との連携ということだが、特定の高校と計画をつくるということなのか。

**A** 津島高等学校、津島北高等学校、津島東高等学校のほか、市内4中学校、市教育委員会も参加して進めていく。

請願1件および陳情1件は不採択

## 総務委員会レポート

### 議案第28号

### 市税条例等の一部改正

**Q** 個人市民税に関する事項で、控除対象配偶者の定義が、同一生計配偶者のうち、居住者所得で1000万円以下と変更になるとのことだが、対象となる方は市内に何人いて、市税にどのくらいの影響があるのか。

**A** 平成28年度の所得が1000万円以上の方は約600人で、配偶者控除の適用がなくなると、市税としては約1200万円ほど増収になると見込んでいる。

**Q** 法人市民税は税率が下がることになるが、見込みとしては減収ということか。

**A** 税率が下がるので、税収としても下がることになる。平成31年10月1日で消費税の増税と同時に、それ以降の事業開始年度ということになる。

32年度の税収減は約5000万円、33年度は決算時期の関係があるので、1年間下がった税率での計算になり1億2,3000万円ほど減収になると試算している。

ただし、今回の法人市民税の引き下げが、国として市町村の担税力の標準

化を狙いとして、交付税不交付団体の減収分をもって、交付団体に充てること が明言されており、市としての減収分 については、今後何らかの補填の方向性 が示されると思われる。



### 議案第32号

### 一般会計補正予算(第1号)

**Q** 滞在型観光地域再生プロジェクト委託料として750万円余計上され、国の地方創生推進交付金を活用して、平成28年度から30年度までの3か年の事業計画で、市内に宿泊施設を確保し、滞在時間を延ばすことで人の流れを生み出し、まちに雇用とにぎわいを創出するため、多言語化に伴う情報発信、ホームページおよびパンフレットを作成することのことだが、その内訳は。

**A** それぞれの国の方が情報コンテンツを構築し、パンフレットを作成し発信することで、各国の目線で情報を提供することができるように、ホームページの構築で507万円、パンフレット1500部作成で198万3000円を予定している。

**Q** パンフレットはどこが作成するのか。市独自の考えで行うのか。

**A** 市がそのものをつくるのではなく、市の考え方も取り入れて一般の参加者目線で請負団体がつくっていく。

**Q** 事業については委託になるが、どういった人の意見を聞くのか。

**A** 地域の人、津島ガイドボランティア、津島おもてなしコンシェルジュ等に話も聞きながらつくっていく。

陳情1件は不採択



## < 常任委員会の行政調査視察 >

津島市議会では、先進的かつ効果的な取り組みを市当局に提案し、市政に反映させるため、他の自治体等を訪問して調査・研究を行っています。

### < 他市への行政調査視察 >

当市議会は、下記の日程および内容で行政調査視察を行いました。平成29年第3回定例会で報告を行います。

○総務委員会

埼玉県飯能市（7月25日(火)）・・・「タブレット導入によるペーパーレス化について」

埼玉県富士見市（7月26日(水)）・・・「健全な財政運営に関する条例について」

○厚生病院委員会

岡山県岡山市（7月25日(火)）・・・「介護予防・日常生活支援総合事業について」

兵庫県赤穂市（7月26日(水)）・・・「赤穂市定住・子育てサポート施策について」

今後の予定

○文教建設委員会

埼玉県鴻巣市（10月10日(火)）・・・「英語教育強化地域拠点事業および小中一貫教育について」

群馬県前橋市（10月11日(水)）・・・「教育現場におけるICTの活用について」

### < 他議会からの行政調査視察受け入れ >

平成29年7月3日(月)、栃木県さくら市議会文教厚生委員会（7名）が来庁されました。

本議会からは、垣見議長が出席し、来庁挨拶の後、福祉課（地域包括ケアシステムグループ）および高齢介護課より、「地域包括ケアシステムについて」の説明がされました。

主な内容は次のとおりです。

- ・津島市地域包括ケアシステム推進協議会について
- ・認知症施策推進協議会について
- ・津島市介護予防施策検討チームについて
- ・生活支援サービス事業について



▲栃木県さくら市議会文教厚生委員会の視察の様子

## 市民に開かれた議会へ

### 議会報告会を開催しました

7月15日、16日に市内の各小学校区にて議会報告会を開催しました。

ご参加ありがとうございました。

また、開催にあたりご協力をいただきました地域コミュニティの代表の方々に深く感謝申し上げます。皆様からいただきました要望および回答は後日、議会だよりに掲載させていただきます。



### 議会を傍聴してみませんか

議会事務局にお越しいただき、傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入するだけで傍聴していただけます。

また、平成28年12月に議場の傍聴席がバリアフリーになりました。車いすの方にも傍聴いただけるよう傍聴席までのスロープや専用スペースを設けています。

ぜひ、傍聴へお越しください。



### 本会議録画映像がスマートフォン・タブレットでも視聴できるようになりました

平成27年第2回定例会分よりインターネットを利用して議会録画映像をご覧いただけます（録画配信は、会議終了の1週間から2週間になります）。

また、平成29年第1回臨時会分よりパソコンに加えてスマートフォンやタブレット端末でも視聴できるようになりました（平成29年第1回定例会以前の映像はパソコンのみでの視聴となります）。



その他、議会ホームページも随時更新しておりますので、ぜひご覧ください。

津島市議会

検索

## ( 議 会 日 誌 )

### <5月>

- 2日 議会運営委員会
- 11日 開会(第1回臨時会)  
各派代表者会議  
議会運営委員会
- 12日 閉会(第1回臨時会)  
議会改革協議会  
議会だより編集委員会  
議会報告会  
第2回資料作成検討委員会
- 22日 厚生病院委員会(所管事務)
- 23日 文教建設委員会(所管事務)
- 25日 総務委員会(所管事務)
- 26日 議会報告会  
第3回資料作成検討委員会
- 30日 議会運営委員会
- 31日 市民病院調査特別委員会

### <6月>

- 5日 開会(第2回定例会)
- 12日 一般質問
- 13日 一般質問
- 14日 一般質問
- 19日 厚生病院委員会
- 20日 文教建設委員会
- 21日 総務委員会  
議会報告会  
第4回資料作成検討委員会
- 26日 議会だより編集委員会
- 29日 閉会(第2回定例会)  
議会運営委員会

### <7月>

- 3日 栃木県さくら市議会来庁
- 5日 議会だより編集委員会
- 10日 議会報告会街頭PR活動  
議会報告会第3回打合せ会
- 12日 議会だより編集委員会
- 15日 議会報告会
- 16日 議会報告会
- 19日 市民病院調査特別委員会
- 25日~26日  
・総務委員会行政調査視察  
(埼玉県飯能市および富士見市)  
・厚生病院委員会行政調査視察  
(岡山県岡山市および兵庫県赤穂市)



## <平成29年第3回定例会の予定>

☆8月28日(月) 開会	9月13日(水) 厚生病院委員会
☆9月4日(月) 一般質問	9月14日(木) 文教建設委員会
☆9月5日(火) 一般質問	9月15日(金) 総務委員会
☆9月6日(水) 一般質問	9月19日(火) 厚生病院委員会
9月8日(金) 厚生病院委員会	9月20日(水) 委員会予備日
9月11日(月) 文教建設委員会	☆9月28日(木) 閉会
9月12日(火) 総務委員会	

- ☆印は、クローバーTVの生中継および夜7時からの再放送を予定しています。
- 会議は午前9時から開催します。●日程は、変更になる場合があります。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

## 編集後記

今回から編集委員会のメンバーが新しくなりました。平成29年第2回定例会は6月5日から29日までの会期で開催され、各常任委員会の審査は日程通り滞りなく進められました。

津島市は70周年を迎え、夏の尾張津島天王祭「車楽舟行事」はユネスコ無形文化遺産に登録され、伝統と文化のまちとして国内外に広く周知されました。これを踏まえ私たちは、一層開かれた、分かりやすい議会を目指すと共に議会の様子や議員の一般質問の内容を議会だよりでお知らせしていきます。

皆様には議会傍聴や、ご意見等お寄せいただけることをお待ちしております。

### 議会だより編集委員会

◎宇藤久子 ○服部哲也 後藤敏夫 上野聡久  
森口達也 安井貴仁 太田幸江

◎委員長 ○副委員長  
議会だよりは、津島市議会の責任において発行しています。

### 次号は、11月に発行予定